

**製品名: GRASP55 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11747**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	47kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GORASP2
別名	GORASP2; GOLPH6; Golgi reassembly-stacking protein 2; GRS2; Golgi phosphoprotein 6; GOLPH6; Golgi reassembly-stacking protein of 55 kDa; GRASP55; p59
遺伝子 ID	26003.0
SwissProt ID	Q9H8Y8
免疫原	抗血清はヒト GORASP2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 181-230

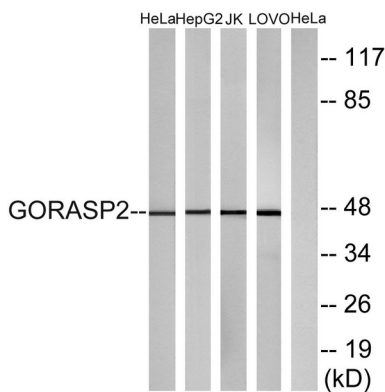
**背景**

この遺伝子は、ゴルジ体再構成スタッキングタンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。これらのタンパク質は、ゴルジ

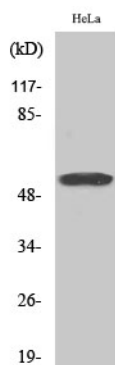
体囊のスタッキングやゴルジ体リボンの形成、アポトーシスまたは有糸分裂中のゴルジ体の断片化に関与している可能性があります。コードされているタンパク質はまた、形質転換成長因子  $\alpha$  の細胞内輸送にも関与しており、分子シャペロンとして機能する可能性があります。この遺伝子の擬似遺伝子は、2番染色体短腕に位置しています。この遺伝子については、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2011年1月]、機能: ゴルジ体囊の組み立てと膜スタッキング、および有糸分裂崩壊後のゴルジ体スタックの再形成プロセスに関与している可能性があります。膜貫通 Tgfa などの特定の膜貫通タンパク質セットの細胞内輸送と提示を制御している可能性があります。、PTM: ミリスチル化。ミリスチル化はゴルジ体への標的化に必須である。、PTM: パルミトイル化されている。、PTM: 有糸分裂細胞でリン酸化されている。、類似性: GORASP ファミリーに属する。、類似性: 1つの PDZ (DHR) ドメインを含む。、サブユニット: 内側ゴルジ体において BLZF1/Golgin 45 と RAB2 エフェクター複合体を形成する。p24 カーゴ受容体のメンバーと相互作用する。トランスゴルジ体を通過する前に、CNIH および膜貫通型 TGFA の細胞質ドメインと相互作用する。GM130 とは相互作用しない。、

## 研究分野

## 画像データ



GORASP2 抗体を用いた HeLa 細胞、HepG2 細胞、Jurkat 細胞、および LOVO 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



GRASP55 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析